

About The Norinchukin Bank

私たちの人となり

農林水産業を支える協同組織の一員である農林中央金庫は

J A（農業協同組合）、J F（漁業協同組合）、JForest（森林組合）など

会員みなさまに金融サービスを提供することにより、

農林水産業の発展に寄与し、国民経済の発展に資することを目的とした組織です。

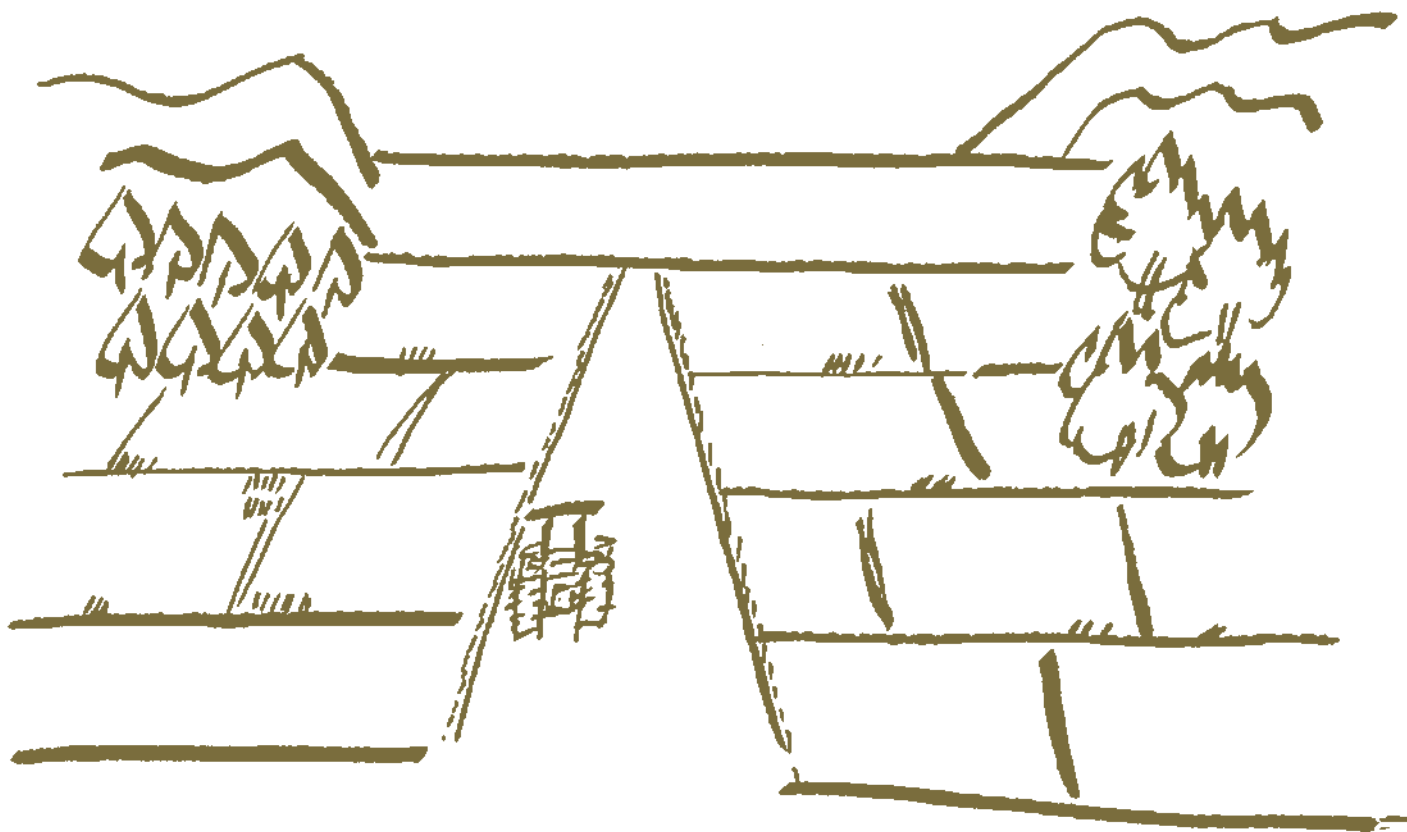
農林中央金庫法第一条にあるこの社会的役割は、私たち役職員の一人ひとりが、

どのような分野で仕事をしていても忘れることのない、唯一無二の使命です。

そしてその使命を果たしていくため、①地球環境への貢献、②農林水産業・地域への貢献、

③会員の経営基盤強化、④持続可能な財務・収益基盤の確保、⑤組織の活力最大化

という5つの取組事項のもと、さまざまな活動をしています。



私たちの存在意義（パーパス）

「人のいのち」と「食べ物（生物）のいのち」と「地球（星）のいのち」はつながっています。
 私たちが生きるためには食べ物が必要、食べ物を届けてくれるのが農林水産業、農林水産業が作り出す食べ物すなわち動物や植物は、水や空気といった自然の恵みの授かりもの。
 自然の恵みは、持続的な地球環境があってこそもたらされるものです。
 こうした“いのちの連鎖”を踏まえ、私たちが掲げる「持てるすべてを「いのち」に向けて。」
 というコーポレートブランドをもう一段具体化して、次のように「存在意義（パーパス）」を定めました。

持てるすべてを「いのち」に向けて。

～ステークホルダーのみなさまとともに、農林水産業をはぐくみ、豊かな食とくらしの未来をつくり、持続可能な地球環境に貢献していきます～

私たちの位置づけ

農林中央金庫は、各地のJA・JF・JForest、および都道府県レベルの信農連・信漁連・森連とともに多様な事業を手掛けています。このうち全国各地のJA・JFの信用事業では、信農連・信漁連や農林中金が連携し、「JAバンク」「JFマリンバンク」として事業を展開。

JAバンクでは、各JAがお預かりした貯金を主に地域の資金ニーズへの対応に活用します。それ以外の資金については信農連に預けられ、より大規模な法人への融資などに活用されます。さらにそれ以外の資金を農林中金がお預かりし、運用益を信農連やJAに還元します。

JFマリンバンクでも同様にJFや信漁連と役割分担して貯金を運用しています。

また、JForest・森連・全森連からなり、信用事業を手がけない「JForestグループ」との間でも、活動への助成や人材育成などで親密に協力・連携を行っています。

